
confession

雪花未来

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

confession

【Nコード】

N0162A

【作者名】

雪花未来

【あらすじ】

それから、数日後…。私は不二ファンクラブとかなんかのファンに虐めに遭い始めた。最初は言おうかなくなって思ってたけれど、考えるにつれて迷惑を掛けると思っちゃって言えなかった。

どうしても言えない『好き』という言葉。

『好き』だけど伝えられない傷付きたくないから…。

この前、私の友達が不二君に告白して、見事に断られた。そして、私は今日見てしまった。見たくない光景を…。

「私、不二君の事が好きなの！」

「御免。僕好きな人が居るんだ」

え？

私はその場から、必死で逃げた。まるで、告白していないのに私の気持ちを否定された気分で、その場に居られなくなったから…。走っている間に私は泣いていたらしく、屋上についた時には頬を伝って涙が零れ落ちてきていた。

「好きな人がいるんだ…不二君。」

ちっちゃな声でそう呟くと、また涙が零れてきた。

諦めよう。

そう心に決めた。

でも、一週間経っても忘れられなかった。

だからいい加減に私は覚悟を決めて、ダメもとで告白してきっちり言われようと決めた。

「不二君。ちょっと大切な話があるの…」

いつになく真剣な表情の私に、不二君は言った。

「僕も…君に言いたいことがあるんだ」

どうして私なんかに言いたいことがあるのかわからなかったけれど、どうせすぐにわかることなので

敢えてそこは聞かなかった。

私が告白するために選んだ場所は屋上…。

何故かこの時間帯だと誰もいない。だから、私はここにしたのだ。

そして、いよいよ2人つきりになって…私の一番のがんばり所…。

「大切な話って…何？」

「わ、私…」

断られるのもわかっていのに告白するなんて、今更になってから
だけど馬鹿だっと思う。でも、嫌でもこうしなくちゃあ諦められな
いのだから仕方がないのだ。ここは当たって砕ける。

「私、不二君の事がずっと好きだったの！」

「僕もだよ…」

「え？」

「好きな人がいるんだ」という断る言葉ではなく、私に返ってきた
言葉は「僕もだよ」という言葉で、私は少しの間放心状態になった。
あまりにも予想外の言葉で…。

というか「不二君も私の事を好いてくれてたんだ」って思ったら、
思わず涙が零れ落ちた。

「どうしたの？もしかして、僕何かひどい事しちゃった！？」
少し焦ったかのような声で、私に言った不二君に私は泣きながら答えた。

「うん。違うの…嬉しくて……」

私が涙を拭いながら不二君に言うと、不二君は私を抱き締めた。

「僕だって、思ってたかった。君が僕の事が好きだったなんて…でも、言うなら僕から言わせてほしかったな 女の子から言われて付き合うなんて少し恥ずかしいじゃない（笑）だから、僕から言わせてね？」

「うん」

不二君のぬくもりが気持ちよくて、このままずっと抱いていてもらいたかった。

「僕と、お付き合いしてもらえないかな？」

「はい」

その後、私と不二君はキスを交わして、お付き合いが始まった。そして、その代わりに私は不二好きの友達に怨まれると思う。でも、私はそんな事構わない…お互いに好きな人と付き合うことが出来たのだから…。

たった一つの勇気を出して気持ちを伝えるだけで、相手に気持ちが伝わって相手の気持ちが変わって…。

勿論、その時に断られた私の友達はひどく心が痛んだのだろう。でも、その友達を好いているという子も必ずいるのだと…。

私は思った…。

f
i
n
.
.
.

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0162a/>

confession

2010年10月28日04時53分発行